

以上でございます。

(石川) ありがとうございます。地球と共存する経営について、具体的にどのように考えておられるかという話と、令和について、非常に夢のある解釈をしていただきまして、まことにありがとうございます。

では、続きまして、森様、よろしく願いいたします。

(森) 森と申します。

いきなり万博の話しをしても唐突感がありますので、今まで、石川様、橋爪様、小林様がお話されたことと万博との関係について、お聞きしながら考えたことをお話しさせていただきます。まず、皆様からお話がありました、ぜひ2025年の万博はデジタルトランスフォーメーションを具現化したものにしたいと思っております。そのとき、先ほど、小林様がデジタル化に伴う消費者余剰という話をされましたが、今、デジタル化に伴う消費者余剰がどんどん膨らんできていますが、ただ、そのほとんどがGAFANAなど外国からきているということが、先ほど橋爪様がおっしゃったように、若い世代や次世代が、国の将来には無関心だけれども、ただ、満足はしているということと繋がっているのかなと、思った次第です。



森副事務総長

そのうえで、若い世代を中心に、付加価値を自らの力で高める経験がこの万博で出来ればいいなと思っています。その際、このGDPといいますか、生産者余剰だけではなく、石川様や小林様がおっしゃられたSDGs、また、データを自分のものにするとか、データソサエティの体験をするなど、そういうことを通じた社会的な付加価値の向上を万博で経験できたらいいなと思って聞いておりました。

〔2025年大阪・関西万博とSDGs〕

では、2025年の万博で何を考えているかというのを資料に基づいてご説明させていただきます。

〔大阪・関西万博のテーマ・コンセプト〕

今回の万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

コンセプトは、未来社会の実験場です。「未来社会の実験場」と「未来社会のデザイン」はほぼ同じ言葉ですので、「未来社会を実験」することで「いのち輝く」を現出するというのが、今回の万博の考えです。

会場は、夢洲（ゆめしま）と申します。後ほどご説明いたします。

開催期間は4月から10月でして、ぜひ4月、5月、6月の間に遠足や修学旅行で全国から若い人に来ていただき、また、大阪は安い航空チケットがたくさんありますので、アジアからも若い人にどんどん来てもらいたいと思っています。

想定入場者数は2,800万人ですが、これに加えてバーチャル万博というのをやりたいと思っています。

2,800万人のなかで350万人がインバウンドです。コロナ禍前の昨年とかは、「もっと増えるんじゃないか」と言われておったのですが、コロナ禍の後でもぜひ350万人に来てもらいたいと思っております。



大阪・関西万博のテーマ・コンセプト	
テーマ	いのち輝く未来社会のデザイン
サブテーマ	Saving Lives (いのちを救う) Empowering Lives (いのちに力を与える) Connecting Lives (いのちをつなぐ)
コンセプト	People's Living Lab (未来社会の実験場)
会場	夢洲 (大阪市此花区)
開催期間	2025年4月13日 (日) - 10月13日 (月)
想定入場者数	約2,800万人

〔万博会場（夢洲）〕

万博会場となる夢洲は海に面しています。そして、大阪は水都大阪というだけありまして、水路が入り組んでいます。これは何がいいかといいますと、空飛ぶ車に都合が良く、やはり建物の上より水の上のほうが安全です。2025年は、空飛ぶ車に、人間が乗るのかアバターが乗るのかまだ分かりませんが、ぜひ人間に乗ってもらいたいと思っております。



〔万博＝「SDGs + beyond」達成への飛躍の機会〕

次ですが、2025年はSDGsの目標年である2030年の5年前です。SDGsというのは2015年にできたのですが、その概念が固まったのが2012年のリオ+20会合です。2000年から2015年まではミレニアム・ディベロップメント・ゴールズがあったわけですし、その後の2015から2030まではSDGsですが、2030年以降は何になるのか。M、Sの次に何になるのか。もしくはサステナビリティ2.0になるのか、このあたりを2025年の段階で、開催前から毎日のように議論したいと思っております。

SDGsの概念のなかには、今のSNS問題のような、データ社会の在り方についての議論は入っておりません。また、笑いというのも入っておりません。そういうことを関西・大阪でいろいろ議論したいと思っております。

〔SDGs達成に貢献する「共創」の万博に向けて〕

今、万博協会では「TEAM EXPO 2025」という取り組みをしております。小学校や中学校で教材を作りまして、10時間のコースの最後に、小学校5年生にはポスターを描いてもらって、中学2年生にはYouTubeのような映像でSDGsについて語ってもらうこととしています。

万博 = 「SDGs + beyond」 達成への飛躍の機会



- 2025年は、SDGsの目標年である2030年の5年前
- SDGs達成に向けた取組を加速させる絶好の機会
- 2030年のSDGs達成にとどまらず、+ beyond(2030年より先)に向けた目標が示されることが期待される。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3

SDGs 達成に貢献する「共創」の万博に向けて



人類共通の 課題解決に向けた大きなムーブメントを起こす

SDGs共創プロジェクト **“TEAM EXPO 2025”** を立ち上げ

開催前から、社会課題に取り組む
大学、自治体、NPO、個人、企業等による
組織を越えた「共創」を促進

2025年
大阪・関西
万博へ

地域の魅力・取組を
世界へ発信

万博や社会課題解決を学ぶ
小・中学校での
教育プログラムの開発
(大阪府教育庁との連携)





2020年
取組み
スタート

2025年には、万博会場を世界中から優れた社会課題
解決事例が集積する「SDGsの甲子園」のような場に

4

〔TEAM EXPO 2025の概要及び進め方〕

東京オリパラが終わるまでは、関西・大阪から盛り上げていき、その後、東京、日本全体、そしてアジア・世界に出ていきます。万博開催期間中は、万博会場の内外で、このSDGsやSDGs + beyondについて語り合い、それを「SDGs + beyond宣言」として世界に発信することで、レガシーにしたいと思っております。

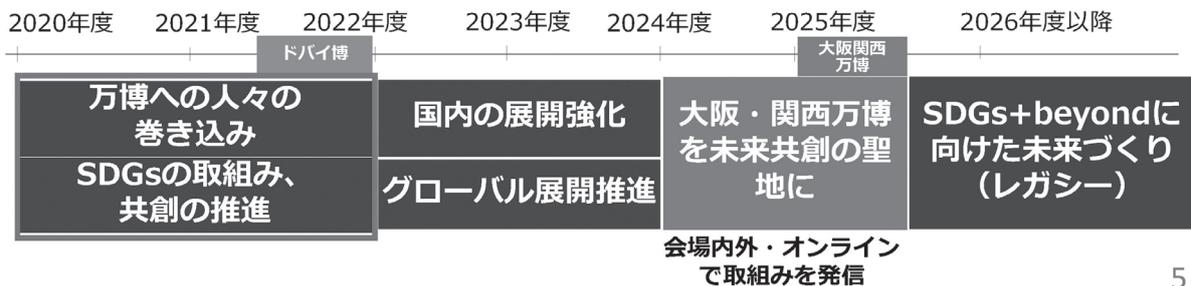
TEAM EXPO 2025の概要及び進め方



“TEAM EXPO 2025”とは

万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、多様な事業者や個人と連携し、理想としたい未来社会を共に創り上げるムーブメント創出活動のこと。

万博の機運醸成に資する取組み(共創チャレンジ)を会期前より多数推進することで、「参加型万博」を体現するものとする。



5

〔TEAM EXPO 2025における事業者・個人との連携方法〕

今、「共創パートナー」や、「共創チャレンジ」を募集しております。大阪・関西では、自治体やNGO、企業のほか、この前は中学校のロボットサイエンス部にも入っていただきまして、その輪が広がっています。それをどんどん日本全国、そして世界に広げていきたいと思っております。

TEAM EXPO 2025における事業者・個人との連携方法



1. 共創パートナー（支援をする法人・団体）

TEAM EXPO 2025



未来のために、色々な人たちと取組みを進めていきたいです！

(例) 広く共創チャレンジの未来社会における実装に向けて支援を実施するもの

- ・自治体などによる実証フィールドの提供
- ・ベンチャー支援組織等によるメンターの活用
- ・クラウドファンด์等多様な資金調達
- ・メディアによるイベントやフォーラム

2. 共創チャレンジ（1つ1つのアクション）

TEAM EXPO 2025



僕たちも万博に参加することができるんだ！

私たちが考えた未来社会への取組がチャレンジになるのね！



(例) ・SDGs やSociety5.0の実現に向けた活動（ロボットで過疎化を解決する活動など）

- ・文化や芸術に関する創造的な活動（アートを通じ、人間が日常的に幸せを感じられる社会を創造する活動など）
- ・万博のテーマや意義などの情報発信

6

〔大阪・関西万博プロデューサーの決定〕

次に、大阪・関西万博のプロデューサーですが、会場デザインのプロデューサーは藤本壮介さんで、日本の有名な建築家でいらっしゃいます。

会場運営プロデューサーは石川勝さんで、愛知万博や地方博を経験された方です。

テーマ事業プロデューサーというのは、パビリオンが100個ぐらいできるかと思うのですが、イタリア館やスイス館といった各国のパビリオンや、企業館や企業グループ館、それらに加えて、万博協会が主導する八つのテーマパビリオンのそれぞれをプロデューサーとして演出していただく、この福岡様から宮田様の8名の方になります。「いのちを知る」、「いのちを育む」、「いのちを守る」など、おのおのの課題を設定して、演出していただきたいと思っております。

大阪・関西万博プロデューサーの決定



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

会場デザインプロデューサー

藤本 壮介 (建築家)



会場運営プロデューサー

石川 勝 (プランナー、プロデューサー)



テーマ事業プロデューサー

福岡 伸一
(生物学者、青山学院大学教授)



「いのちを知る」

河瀬 直美
(映画監督)



「いのちを守る」

小山 薫堂
(放送作家)



「いのちをつむぐ」

石黒 浩
(大阪大学名誉教授、ATR石黒浩特別研究所客員所長)



「いのちを広げる」

河森 正治
(アニメーション監督、メカニックデザイナー)



「いのちを育む」

中島 さち子
(音楽家、数学研究者、STEAM教育家)



「いのちを高める」

落合 陽一
(メディアアーティスト)



「いのちを磨く」

宮田 裕章
(慶応義塾大学教授)



「いのちを響き合わせる」

〔ロゴマークの決定〕

次に8月に決定したロゴマークですが、我々、改めて「デザインの力」というものを思い知りました。大阪では、16時から18時ぐらいまで独自の報道番組を大阪の各テレビ局が放映されていて、ラジオ局や新聞紙面も大阪枠というのが結構あります。したがって、大阪では毎日のように万博のことが言われているのですが、東京の紙面に出ること、東京のワイドショーに出ることはこれまで非常に少なかった。しかしながら、このロゴマークのおかげで、北海道から沖縄まで、若い人にも何となく2025年にエキスポがあるらしいということまでは分かっていた、というのが現状だと思っております。

ロゴマークの決定



最優秀作品



OSAKA, KANSAI, JAPAN
**EXPO
2025**

グループ名：TEAM INARI(チーム イナリ)
作者(代表者)：シマダ タモツ
(アートディレクター/グラフィックデザイナー)

70年大阪万博
ロゴマーク



コンセプト

踊っている。跳ねている。弾んでいる。だから生きている。大阪・関西万博。1970年のデザインエレメントをDNAとして宿したCELLたちが、2025年の夢洲でこれからの未来を共創する。

関西とも、大阪府ともとれるフォルムを囲んだメインシンボルだけでなく、CELLたちは、文字や数字を描きだし、キャラクターとしてコミュニケーションする。自由に。有機的に。発展的に。いのちの輝きを表現していく。

8

[ロゴマークの活用]

大阪、関西では、いろんなところに、鉄道も駅ごとにロゴマークのポスターが貼ってあるわけですが、これからロゴマークの商用化をどんどん進めていきたいと思っております。

ロゴマークの活用



一般の方が使用できるメッセージ付きロゴマークが10月から申請可能になりました(関西弁・標準語・英語 タテ組み・ヨコ組み 計12パターンあり)

※但し、商品やサービスに関連付ける使用は不可



いっしょに、いこな!
大阪・関西万博



MEET ME AT
EXPO 2025!

(他10パターンあり)

■ 様々なところで
ご使用いただいています。



チラシデザイン



八尾市広報誌

■ メッセージ付きロゴマークはこちら
のHPから使用申請していただけます。



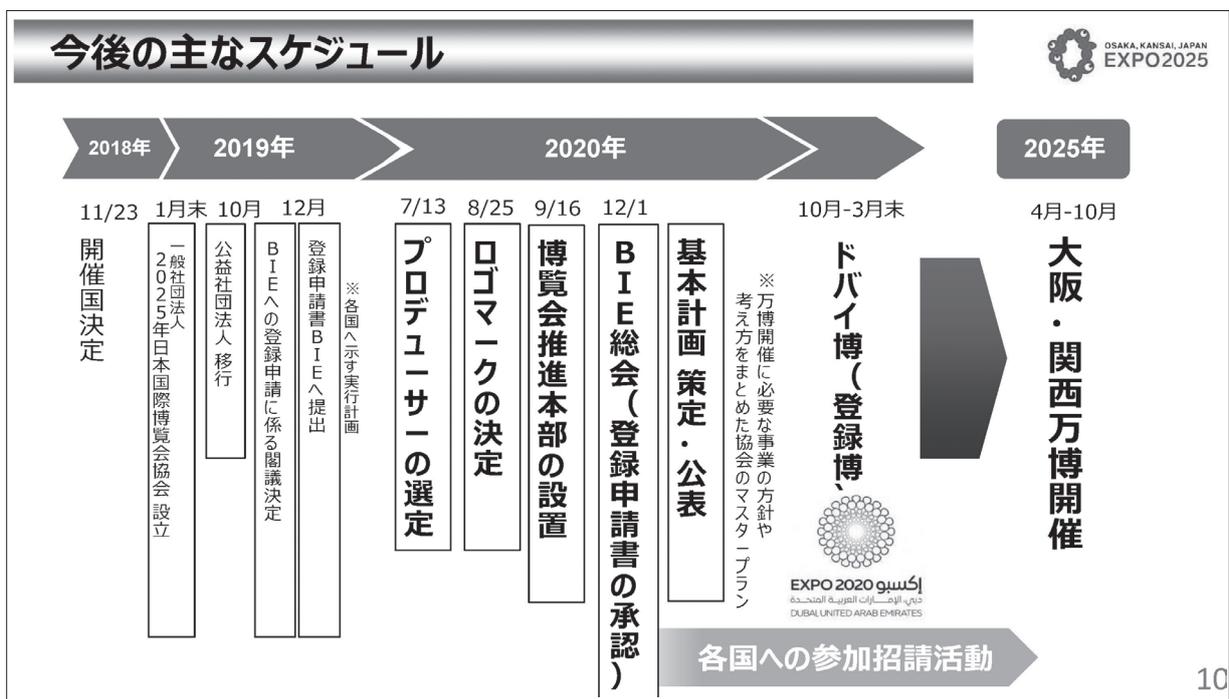
公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
<https://logo-dl.expo2025.or.jp/>

9

〔今後の主なスケジュール〕

主なスケジュールですが、7月にプロデューサーを選定し、8月にロゴマークを決定し、そして9月に内閣に万博推進本部が設置され、万博の担当大臣も就任されました。そして、BIEという国際機関で登録申請書が12月1日に承認されまして、これから各国への参加招聘活動を公式に進められる状況になったわけです。

これから、できれば年内に基本計画を策定・公表して、そして、ドバイ万博を経た後に、大阪・関西万博をぜひ延期することなく2025年の4月から10月にしっかりとやって成功させたいと思っております。



〔2025年日本国際博覧会がめざす姿〕

最初に「付加価値を高める体験」と申しましたが、「モノを見せる場」から「コトを感じる場」に、「観る」万博から「参画し、共に創る」万博に、「いのち」を考え、「社会」を検証し、提案する機会に、ということにしていきたいと思っております。

すばらしい技術を見せるだけではなくて、社会の変革がどのように起こっていくかということを経験できるような場にしていきたいと思っております。

本日は、大阪・関西だけではなく、東京の方もかなり聞いてくださっていると思います。ぜひ万博に関心を持っていただければありがたいと思っております。東京オリパラが成功裏に終わった後、我々は、どんどん万博、万博と言っていきますので、ぜひよろしく願います。

2025年日本国際博覧会がめざす姿



◆「モノを見せる場」から「コトを感じる場」に、
「観る」万博から「参画し、共に創る」万博に

◆コロナウイルス感染症の地球規模の拡大という
未曾有の局面を経験、世界の国々と
「いのち」を考え、「社会」を検証し、提案する機会に

「いのち輝く未来社会」の実現に向け、
世の中を変える動きを
創り出すような新しい万博に！



出典：経済産業省

11

〔2025年大阪・関西万博の成功を！〕

繰り返しになりますが、2025年、大阪・関西万博を日本全体の万博として成功させたいと思っておりますので、ぜひ本日見てくださった方は、ご関心を持ってください。聞いていただきまして、ありがとうございました。

2025年大阪・関西万博の成功を！

